



アンテナ 出東

発行/出東コミュニティセンター企画広報部 お問い合わせ/TEL 0853-62-5033 FAX 0853-62-5039

●世帯数1,291戸
●人口3,826人
男性/1,886人 女性/1,940人
令和6年10月31日現在

「強烈なスマッシュが得意」とい
い、全国大会でも「優勝を狙う」
ときっぱり。目標とする選手は
世界選手権上位の山口茜。将来
は県外の強豪校への進学を夢
見る。保護者コーチの資格を
持つ父親も、娘の活躍に目
を細める。

身長は150センチと小4にしては
高い。おかつ頭で、話を聞く姿勢は
とてもおとなしい印象。幼少期から低
学年の時はスケートなどスライダに
打ち込んだ。バドミントンは父親の陽
紀さん(41)の勧めで始めた。小学校
には部やクラブがないので、旧出雲市
のおうちクラブに所属し、練習は週6
日。帰宅後もステップ練習や走り込み
にと余念がない。「練習はとてもハ
ードだが、楽しみの方が大きい」と凛花
さん。ダブルスは8月から始め、ペア
を組むのは木次香晴さん(高松小)。
こちらも実力者だ。凛花さんは相方が
ミスをしてイライラしても全く動じ
ないで落ち着いているという。

10月に行われた中国地区大会4年生以下女子ダブルスで、
優勝候補の対戦相手を破りV。県予選からすべてストレート
勝ち、圧巻の実力ぶりに年末神戸で行われる全国大会でも
期待がかかる。

小学生バド選手権中国大会を制し 全国大会優勝を狙う

Kirari shuttoubito

キラリ 出東びと

黒目松原自治会
出東小4年・おうちクラブ
高橋凛花さん(10)



出東小学校開校150周年記念

出東小学校校長を
務められた方々に、当時の思い出を語ってもらいます。

〈シリーズ No.3〉

出東小学校での思い出

学校開校150周年を迎えられますこと心よりお喜び申しあげ
ます。その長い歴史の中で平成23年度からの3年間出東小学校
に勤務させていただきました。

出東は、広大な田園風景や山々の眺望・水辺の香り等心落ち着
く環境の中にありました。そうした環境の影響か、出東の方には
笑顔が多く、人懐っこい雰囲気を感じました。

学校運営で、心温まることも多々ありました。半面、課題も少
なからず出てきました。

そんな時、児童の「笑顔」や地域(PTA・
教育後援会・自治協会等)の皆さんの親身
な援助やご協力は、本当に頑張る力になり
ました。とりわけ出東の体協さんとは接点が多く、いろいろな方
と縁ができて地域を知るいい機会にもなりました。

「人懐っこい」は「素直」がその大きな要素だそうです。今後と
も、児童・地域が益々飛躍されますことをお祈りします。

(平成23年4月~平成26年3月 校長在任 玉木一好)



出東小開校150周年記念
イメージキャラクター
「いっちゃんちゃん」

出東小学校は明治7年(1874)の開校より、今年で150周年を迎えます。

9月
4日～6日
水金

コミセンスタッフとして業務を体験 中学生職場体験

斐川東中学校の生徒1名が3日間、職場体験でコミセンに訪れました。朝の館内清掃活動から始まり、防災行政無線の文章打ち込みや、ふれあいサロンのスタッフなどの仕事に取組んだ他、人権DVDを鑑賞し、地域のあり方や地域活動の参加についても学びました。コミュニティセンターの避難訓練では、実際の流れを想定しながら、館内にいる人の誘導を真剣な面持ちで取り組んでいました。



職場体験をした生徒は「コミセンは人と人をつなぐ場所や機会を提供している重要な所だと知った。職員が仕事に対し学び続ける姿勢が心に残った。この貴重な体験を通して地域の関心がいっそう高まった」と話していました。

9月
17日
火

花管理の秘訣を学ぶ とっとり花回廊視察研修

自主企画事業/環境部

とっとり花回廊の維持管理方法を学ぼうと環境視察研修を行い、26名が同施設の営業課・鳥飼主事から様々な花の管理や展示方法などについて説明を受けました。

メインフラワーのユリは、季節を問わず1年中見られるよう開花調整や展示に工夫している話などを聞き、また、より公園の魅力が増すよう「水上花壇」や霧が吹き出す「霧の庭園」「花の谷」など考えられた演出を目の当たりにしました。「普段聞くことができない裏話も興味を引いた」と参加した女性は満足そうに話していました。



サポカーの安全性を体験！ 高齢者安全教室

自主企画事業/高齢者福祉部

9月
12日
木

近年増加している高齢者の交通事故に注意しようと、22名が参加し高齢者安全教室が開かれました。はじめに交通安全アドバイザーの講話を聴いた後、認知機能検査や反射・判断能力の確認を行いました。その後、コミセン駐車場で自動ブレーキなどを備えた「安全運転サポート車」に乗り込み、アクセルやブレーキの踏み間違いを検知して急発進を防ぐ機能や、前方の障害物を検知して自動でブレーキがかかる機能を体験しました。

参加した男性は「今回の経験を生かして交通安全への意識を高めていきたい」と話していました。



心と体の健康教室

笑いの健康講座「子育ての今と昔」 「天気予報ができるまで裏側」

自主企画事業/健康推進部

9月
14日
土

出東地区健康づくりの会と共催で、フリーアナウンサーの田中友香理さん、気象予報士の石川博康さんによる笑いの健康講座を開催し、43名が参加しました。第一部は田中さんによる「子育ての今と昔」、第二部は石川さんによる「天気予報ができるまで」と題した話を聞き、テレビ番組制作の裏話など、夫婦の息ぴったりな掛け合いに会場は笑いで包まれていました。「子育てのサポーターとして大変参

考になった」「天気図の見方がよくわかった。この講演に参加し心が晴れやかになった」など、多くの感想が寄せられました。

自治会について考えよう 自治協会代議員会を開催

出東地区自治協会

9月
20日
金

本年度の自治協会代議員会は、出雲市自治振興課の金森課長補佐を招き、自治会・自治協会に加入するメリットや、加入促進に向けた出雲市の取り組みなどの説明を聞きました。

この他、本年度成人式を迎える二十歳の方たちに贈る「つなごう出東、未来の担い手企画」の説明や、文化祭、12月予定の人権・同和問題の自治会長研修の案内が行われ、参加した自治会長47名は熱心にメモをとっていました。



川違い(かわたがえ) 出雲平野を潤す天井川

斐伊川は、船通山に源を発し、流長153km、流域面積2,070km²の1級河川である。

「たたら製鉄」を背景とした河川として有名である「鉄穴流し(かんんながし)」によって、全国でも稀な砂の天井川となったため、斐伊川の縁には「鯨の尾」と呼ばれる導水路が築かれている。また、古くから氾濫を繰り返してきた歴史があり、流域住民に多くの試練と苦難を与えてきた。

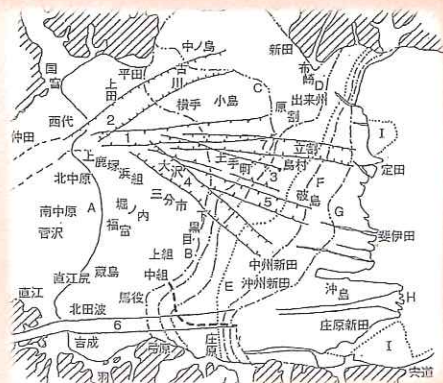
しかしながら、江戸時代の先人たちは、40年～60年ごとに人工的に川を移しかえる「川違い(かわたがえ)」を行い、斐伊川の氾濫を防止するとともに、斐伊川のもたらす土砂で、宍道湖を開拓して新田開発を行い、湖岸線を約5kmも前進させた。

享保8(1723)年には島村川違いにより土手町地区が(図中-3)、天明5(1785)年には三分市川違い(図中-4)により、斐伊川を現在の大沢から欠戸から川東上組辺りに掛け替えた。現在でも出東小学校北側から一本松、川東上組・中組に向かう市道とほ場の向きにその痕跡をはっきりと見ることができる。川違いに伴い宍道湖の汀線は東側に延伸し、天保2(1831)年には中洲新田辺りまで陸地となり、出東地区は大きくその面積を拡大することになった。

古きを訪ねて

出東歴史散歩

Vol.11



▲斐伊川河道の要図

ふるさと歴史探訪

10月5日 土 史跡から知る地元の歴史

自主企画事業/企画広報部

身近にある史跡を巡り、地域の歴史を興味深く学ぶ「ふるさと歴史探訪」が行われ、17名の歴史ファンが参加しました。

荒神谷博物館の宍道年弘企画監の解説で、荘原の神庭岩船山古墳や御井神社、旧海軍大社基地、狼ヶ森を巡りました。また、三分市地区に残る江戸時代の川違いの痕跡を、参加者は地図と見比べながら実感していました。「近くに住んでいながら知らないことも多く勉強になった。今後もぜひ参加したい」と参加者の一人は話していました。



10月12日 土 小学校跡地を巡りウォーキング 出東健康ウォーク

自主企画事業/健康推進部



出東地区健康づくりの会、出東小PTA保体部の共催で、恒例の健康ウォークが行われ、56名が参加しました。

今年は出東小学校開校150周年を記念して、出東小学校の前身のひとつである三分市小学校の跡地をめぐり、約6kmのコースを歩きながら小学校の歴史を学びました。

コミセンに帰着後は、地元の特産品の新米やシジミが当たる抽選会も行われ、くじを引く順番を待つ間、健康づくりの会の健康推進員さんによる健康に関する啓発活動も

行われるなどし、会場は大いに盛り上がっていました。

「作りたい気持ち」から「DIYへの一歩」を踏みだす!

10月26日 土 廃材でDIY教室

自主企画事業/環境部

廃材を使ったDIY教室が開かれ、9名の方が参加しました。はじめに部長の古川幸希さんからDIYに必要な工具の使い方や用途・特徴などについて説明を受けた後、実際に電動ドリルで穴開けとビスの打ち込みを実践。参加者は、初めて使う電動ドリルにドキドキの様子でしたが、慣れてくると「楽しい!」という声もあがるようになり、あっという間に組み立てが終了。最後に塗料を塗り、おしゃれで素敵なプランターカバーに仕上げていました。

参加した人からは「作りたいものが形になって嬉しかった」「自宅でプランターに苗を植え楽しみたい」と作品を前に笑顔で語ってくれました。



10月22日 火 食の視察研修

自主企画事業/健康推進部



「食を学ぼう!」をテーマに、26名の参加者が食と健康について学ぶ研修に雲南市へ出かけました。

木次乳業では、パステライズ牛乳・乳製品がつくられる様子を見学し、新鮮でおいしい牛乳の製造工程や技術、牛乳の効果などについて説明を受けました。

その後、&CAFE華羅へ移動し、自然素材を使用した昼食をいただくあいだ、雲南市の発明家・原安夫さんからゴボウ茶の話を、味覚の講座を華羅のシェフよりしていただき、食と健康について考えました。最後に参加者で、大豆と山椒の酢漬けづくりを体験し、お土産に持ち帰りました。

恵比寿さんお陰をいただきTOUR!

11月7日 木 生き生き一日研修

自主企画事業/高齢者福祉部

高齢者の生きがいがいづくりの場を提供しようと、生き生き一日研修が実施され、65歳以上の25名が参加し、境港おさかなパークの見学、美保神社と美保関灯台へ出かけました。車中では、高齢者福祉部の佐藤好幸部長から、それぞれの目的地関連の説明を受け、皆、興味深く熱心に話を聞いていました。参加者は「たくさんお話ができて楽しかった」「参加してよかった」などと大満足の様子で、好天に恵まれ、恵比寿さんのお陰をいただいた楽しい一日となりました。



専門部紹介

出東コミュニティセンターでは、みんなで一緒に地域を盛り上げようと、6つの専門部それぞれで、年間を通じていろいろな楽しい企画を考える企画を考え、実施しています。その活動内容を随時紹介していきます。

Vol.

01

環境部



地球環境が深刻化する中であって、もっと身近な部分で環境に関心を持ち、環境に配慮した自分たちで出来る取り組みを行おうと「美化・エコ活動」をテーマに、事業の企画立案、実施をしています。

地域の方に興味があり、多くの方が参加していただきやすい事業をモットーに、部員同士が意見やアイデアを出し合い事業を組み立て、当日のお世話をしています。

環境部の活動の参加をきっかけに、一人ひとりの生活に合ったエコ活動、始めてみませんか。

【令和5・6年度の主な活動】

- 環境・エコ活動
出雲エネルギーセンター視察、三隅火力発電所視察
えひめAI作り、廃材リユース
DIY(プランターケース作り)

- 美化
とっとり花回廊「花の管理方法
を学ぶ」見学・講習

部長:古川幸希

副部長:曾田洋子 他部員9名(令和6年12月時点)

きれい
お花し

11月
8日
11日
14日
金
月
木シニアのための
スマホ教室

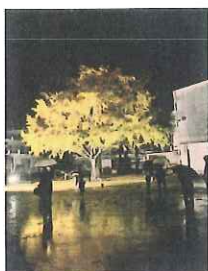
出雲市情報政策課

出東コミュニティセンターを会場に3日間、初心者向けスマートフォン教室が開催され、インターネットやLINEの使い方、カメラの撮影など基本的な操作を学ぼうと60代から80代までの男女9名が参加しました。

高齢者の方でも、広くデジタル化によるサービスが受けることができるようにと出雲市が企画したもので、教室ではネットによるトラブル防止の説明も行われました。参加した男性は「次回の予定はいつ?また参加したい」と、操作を学ぶことができることが広がる楽しさを実感していました。

11月
15日
17日
金
日夜空に“映えた”イチョウの木
ライトアップイベントに多くの人出

出東小学校開校150周年記念事業実行委員会



明治7年に、出東小学校の前身となった沖洲小学校と三分市小学校が開校し、今年でちょうど150年を迎え、その記念事業の一環として校庭の太イチョウの木のライトアップイベントが行われ、地区内外から3日間で400人ほどの人が訪れました。

大正13年、現在の場所に出東村尋常高等小学校が開校。その記念で植樹されたイチョウの木は樹齢100年を迎え、高さは隣の体育館の屋根を見下ろすまでに成長。新聞記事でライトアップを知ったという市内高岡町の男性は、鮮やかに映し出されたイチョウの木を見上げ、「実家が出東で、小学校時代の思い出が詰まった場所。幻想的なライトアップを見ることができ感激した」と嬉しそうに話していました。

11月
16日
土

おちらと昼食会

出東地区社会福祉協議会

普段、人と接する機会が少ない一人暮らしの高齢者の方に、おしゃべりしながら楽しい時間を過ごしてもらおうと「おちらと昼食会」が本年初めてコミセンで開かれ、男女11名が参加しました。地区民生児童委員のお世話で用意された弁当を食べながら、およそ1時間余り世間話を花を咲かせました。また高齢者福祉サロンの参加案内もあり「できるだけ繋がりを持った生活をしてほしい」と地区社協会長の中間さんは話します。

11月
24日
日「人権講演会」を開催
加納莞雷の平和思想から

出東地区人権・同和教育推進協議会



安来市加納美術館名誉館長である加納佳世子さんによる「平和と人権を考えるー加納莞雷の平和思想からー」と題した人権講演会が開催され、35名の参加者が人権について学びました。従軍画家だった父の故・加納莞雷さんが戦後フィリピン政府に向けて行った戦争犯罪人「助命」嘆願活動に焦点を当て、平和と人権の尊さ、ルキノ大統領の「許し難きを許す」に至った心情、フィリピンの人々と今でも交流が続いていることなど、丁寧な口調で語っていました。参加者からは「世界へ目を向けて平和を考えたい」「伝えることの大切さを考えさせられた」などのコメントが寄せられました。「向き合い」「学び」「伝える」行動をしっかりと子どもたちに見せることで、差別や偏見のない地域づくりにつなげたいものだと思います。

11月
26日
火

青パト連絡会を開催

出東子どもの安全を守る会

小中学生の下校時などに地区内の見守り活動を展開している出東地区青パト隊の連絡会が行われました。常松会長のあいさつの後、斐川交番の星野さんより、管内で特殊詐欺の事案が発生していることや青パト時に見慣れない不審な人物や車を見かけたら連絡してほしい、などの話があり、参加した7名の隊員は熱心に話を聞いていました。その後、地区内の交通危険ポイントなど情報交換や、新たな隊員の呼び込み・募集について話し合わせ、積極的に意見を交わしていました。



出東子どもの安全を守る会では、新規青パト隊員を随時募集しています。自動車の運転ができる方で、その他特に資格など必要ありません。買い物や会社の帰り時間などだけでの活動も可能です。地域の子どもの見守りや防犯活動にご協力いただける方は、コミセンまでお気軽にお問い合わせください。

コラム

地域のために頑張ってます!!

コミセン喫茶
ボランティアスタッフ～ホッと一息
心落ち着く楽しいひと時を～

コミセン喫茶は、お友達や近所の方を誘って気軽に來ることができる憩いの場の提供として、出東コミュニティセンターを会場に始まりました。現在スタッフ7名で活動しています。

毎月ごとになるお菓子とコーヒーまたは抹茶のセットメニューを用意しています。また、一年に数回、手作りのお菓子も提供するなど、工夫を凝らしながら運営しています。11月には本年2回目となる、そば打ち同好会とコラボし、打ちたての新そばをメニューに加え好評を得ました。

月に1回の実施ですが、毎回コミセン喫茶を楽しむに寄っていただく方も多くいらっしゃり、地域コミュニティ交流の場として役立っていることを励みに活動を続けています。

スタッフ一同、これからも皆さんに心落ち着き楽しいひと時を過ごしてもらい、気軽にコミセン喫茶に来てもらえるように考えています。

ぜひ、ホッと一息つきにお寄りください。コミセン喫茶ボランティアスタッフ一同お待ちしております。

INFORMATION

- 開催日 毎月第3木曜日9:30～11:30
※1月は休止
- 参加費 200円
- メニュー お菓子とコーヒーまたは抹茶のセット



好天に恵まれ多くの人で賑わう
出東小150周年記念の催しも好評

第96回

出東地区文化祭



10月20日(日)、出東地区文化祭が出東小学校を会場に開催され、好天にも恵まれ地区内外から1,200人以上の人出で終日賑わっていました。

地域で活動するサークル団体の展示や販売も大盛況。ステージでは、オープニングを飾った斐川東中吹奏楽部の演奏の他、ゲスト出演として大社高校ダンス部のパフォーマンスや出雲商業高校吹奏楽部の演奏も加わり、終日多くの人で賑わいました。フィナーレの餅まきには、続々と人が集まり熱気であふれ返っていました。

今年は、出東小学校開校150周年を記念し、復刻うどんの販売や、歴代の卒業写真の展示、ハロウィンパレードなど、さまざまな団体が工夫を凝らした内容で演出し文化祭を盛り上げていました。



▲ミモザによるハンドベル演奏



▲ハロウィン行列はグループホームラにもお邪魔



▲中学生ボランティア大活躍。ガラポン抽選会



▲陶芸クラブの作品。販売コーナーも盛況



▲ゲスト出演、出商吹奏楽部マーチングドリル



▲息もぴったり。友輪舞人のよさこい



▲かわいい小物も展示販売。織み物クラブ



▲復刻！元青年団による伝説のうどん



▲卒業写真に見入る大勢の人たち



▲なぜか餅まきと聞くと血が騒ぐ！



▲恒例の更生保護女性会チャリティバザー



▲mama塾によるメダカすくい



▲こどもの遊び場には常に笑顔が



▲健康づくりの会による健康チェックも人気



▲グリーン・リバーによるハーモニカの合奏



永年の地域防犯活動が認められ表彰 出東こどもの安全を守る会代表 常松耕治さん



出東こどもの安全を守る会の代表で、出東地区青少年育成協議会の副会長も務め、あいさつ運動を推進する常松耕治さん(黒目新田)が、永年地域の防犯活動に貢献した功労で、このほど中国四国管区警察局長と中国防犯連合会連絡協議会長から表彰されました。

20年以上地域安全推進員として、また出東こどもの安全を守る会の代表を務める常松さんは、青少年の健全育成活動を積極的に取り組み、出東地区であいさつ運動の推進や、青パト隊の展開など防犯活動の中心的立場としての活動が認められたものです。昨年、学校と警察の連携を図り児童・生徒の健全育成を目的として設けられている学校警察連絡協議会斐川支部に地域ボランティアも加わり、一体的な防犯活動の推進を図っています。

常松さんは「地域の方の理解と協力があって受賞したようなもの。当たり前のことを淡々と続けてきた結果で、今後もより安全で安心な出東を目指して取り組んでいきたい」と抱負を語っていました。



1月 出東地区 行事予定

- 6日(月) 新春書初め会・凧あげ／虹教室(3年生)
- 8日(水) 出東小始業式／斐川東中始業式
- 16日(木) 虹教室(4年生)
- 19日(日) インドアYUKIGASSEN
- 20日(月) 文書配布
- 22日(水) 出東ふれあいサロン新年昼食会／虹教室(2年生)
- 8日～29日の毎週水曜日、あいさつ運動



よさこいサークル 友輪舞人(ゆうわまいと)

親子で参加も!
とてもアットホームです!

友輪舞人(ゆうわまいと)は、よさこいサークルです。2004年に創設され今年で20年目。未就学児から中高生までのキッズチーム「友輪舞人喜楽(きらく)」、中高年から大人が所属する「友輪舞人」で構成されています。出東地区だけでなく県内各地の人が加入し、親子で参加している家庭も多く、とてもアットホームな雰囲気です。

出東地区文化祭をはじめ各地のイベントで演舞したり、「斐川だんだんよさこいまつり」に毎年出場しています。

運動が苦手な人、体を動かしたい人、どなたでもwelcomeです。隔週日曜日に、出東コミセンで練習しています。見学いつでも受け付けています。



サークルさん
いちっしや〜い

待ってま〜す!



出東コミュニティセンターのInstagram始めました。
最新情報をアップしています。
フォローよろしくお願いします。



The Voice

～皆さんからの声～

長女が小学校へ入学するタイミングで出東に戻り、もうすぐ2年が経とうとしています。「住めば都」といいますが、出東は田畑も多く自然を肌で感じられ、住むにも子育てするにもとても良い環境。朝は小中学生の「おはようございます!」と気持ちの良いあいさつ。子供が帰る頃は地域の方が「おかえり!」と声をかけてくださり、素晴らしい!と感心するとともに有難く思っています。

自然豊かで人のつながりが温かいこの出東で、子どもたちが伸び伸びと健やかに育つことができるよう、コミセンをはじめ地域の皆様と支え合っていきたいです。

(沖洲 40代 女性)

●皆さんの声を募集しています!!

災害義援金のお礼



9月21日から23日にかけて石川県能登半島で発生した豪雨災害に対し、出東コミュニティセンターでは被災された方々を支援し、被災地域の復興を支援するため、義援金の募集を行ってまいりましたが、11月15日の受付で終了させていただきました。

お寄せいただきました義援金8,540円は、出東郵便局から日本赤十字社に寄託いたしました。皆様のご支援ありがとうございました。

草刈り作業・コミセン大掃除のお礼

10月25日、コミセンで活動しているカラーリングクラブ、そば打ち同好会、陶芸クラブのメンバー23名で、コミセン敷地内の草刈りを行っていただきました。

また12月6日(金)には、サークルなど18団体およそ50人の方にご参加いただき大掃除を実施。集会室をはじめ各部屋のフロア掃除や窓ふき、エアコンフィルターの掃除など普段あまり手の届かない場所や、玄関のデッキブラシ掛けなど隅々まできれいにいただき、見違えるほどきれいになりました。新年も清らかな気持ちでコミセンを利用していただけたと思います。ありがとうございました。



年末年始 休館のお知らせ

INFORMATION

2024.12/28(土)～2025.1/5(日)

12月28日(土)から翌年1月5日(日)までの9日間、出東コミュニティセンターは休館となります。ご不便をおかけしますがご了承をお願いします。

●年末12月28日(土)・29日(日)のリサイクルステーションは休止。
新年1月4日(土)・5日(日)は開設します。

ご寄付お礼

皆様からお寄せいただきましたお志は、出東地区自治協会を通じて地域の福祉事業に活用させていただいております。

香典返し 金一封	曾田 陽司 様(橋南)
香典返し 金一封	勝部 知典 様(坂田大沢)
香典返し 金一封	故 岡 壽味子 様(富上北)
香典返し 金一封	瀬崎 君枝 様(川東中組)
香典返し 金一封	尾原 健志 様(昭和)
香典返し 金一封	尾原 悌二 様(相場)
香典返し 金一封	多久和敏男 様(砂川)
香典返し 金一封	錦織 敬史 様(中洲中組)
香典返し 金一封	錦織 昇 様(東島)
香典返し 金一封	玉木 久好 様(川東中組)
香典返し 金一封	古川 潤司 様(灘東)

ご厚志誠にありがとうございました。